

生成AIで川柳をつくってみよう

のらねこ銀さん

巷でよく耳にするAIですが、皆さん使っていますか。資料や動画があつという間に作れるとか、人間の仕事が奪われるほど凄いと耳にはするけれど、実際にはどう使うんでしょう？疑問を解消すべく、試しに生成AIを使って川柳と画像を作ってみたいと思います。

AIもいろいろ

川柳づくりの前に、少しだけAIについて触れておきましょう。

AIは「人工知能」のこと。英語だと Artificial Intelligenceなんて、少しお高くとまった名前をしていますが、要は「人間みたいに考えて、判断する機械」って感じでしょうか。

身近なところでは、お掃除ロボットの賢い動きや、スマホの顔認証などにも使われています。最近では、小説やグラフィック、音楽まで作れるAIも出てきて、話題になっていますよね。

生成AIって何？

AIの中でも、人間が入力した指示(プロンプト)に基づいて、新しい文章や画像、音声などを自動で作り出す技術のことを「生成AI(ジェネレーティブAI)」と呼びます。例えば、文章生成AIは文章を作り、画像生成AIは画像を作ります。人間にしかできないと思われていたクリエイティブな作業も、生成AIのおかげで楽にできるようになりました。

無料で使える生成AIたち

生成AIには、日本語に対応したアプリもいろいろあります。数あるなかでも、OpenAI社の「ChatGPT」、Microsoft社の「Copilot」、Google社の「Gemini」は、世界中で爆発的に普及している対話型生成AIの代表格です。いずれも自然な対話形式で指示ができるので、素人でも使いやすいです。さらに、テキスト(文章)や画像、音声、画像などを同時に処理できるマルチモーダルAIへと進化しているので、いろいろと試すこともできます。ぜひこれを機に使ってみましょう。

いま、ちょっと身構えた方もご安心ください。ご紹介する生成AIは、それぞれのサイトにアクセスしていただくか、スマホにアプリをダウンロードすればすぐに使えます。フル機能を使いたい場合は、各社のアカウント(例えば、CopilotならMicrosoftのアカウント、GeminiならGoogleのアカウント)を取得してくださいね。既にアカウントをお持ちの方はログインすればokです！また、無料版ですと1日に生成できる回数に制限があるので、その点だけご注意ください。

▼各サービスのURL

サービス名/提供企業	アイコン	URL
ChatGPT (チャットジーピーティ) OpenAI社		https://chatgpt.com/
Copilot (コパイロット) Microsoft社		https://copilot.microsoft.com
Gemini (ジェミニ) Google社		https://gemini.google.com

生成AIを使って川柳をつくってみよう

では早速、噂の生成AIを使ってみましょう。今回はChatGPT4oを使って「お月見」をテーマに川柳と画像を作ってみます。使い方はとっても簡単！メッセージを送る欄に「お月見をテーマに川柳を作成して」と入力して送信するだけ。10秒とかからず川柳ができました。

お月見をテーマに川柳を作成してください

もちろんです。お月見をテーマにした川柳をいくつかご紹介します：

1. 月見酒 雲の切れ間に 酔う心
2. 団子積み 子の手のあとが 名残月
3. すずき揺れ 昔話に 月ぼっかり

実際には5つ作成してくれましたが、誌面の都合上、3つに絞りイメージ画像を掲載しています。ここで、さらにプロンプト(指示)を加えてみましょう。

もう少し洒落っ気のある川柳にして

承知しました。風流で、どこか洒落っ気のある“お月見”川柳を

以下にご用意しました：

1. 月見酒 月も酔ったか 斜め顔
2. 君の横 団子より甘い 横顔ね
3. 酔いどれて 月に口説かれ うなずいて

どれも少し艶っぽさや色気を含んだ洒落た風情を意識しています。

さらに「笑い」や「皮肉」寄りもできますので、お好みがあればどうぞ！

※画像はイメージです

今回ChatGPTは、洒落っ気を「艶っぽさや色気」と考えたようです。こういう解釈も面白いですね。もっと使いこなしたいという方は、プロンプト(指示の出し方)を探求してみてください。最初は少し戸惑うかもしれませんが、どれだけやり直してもAIは文句を言わずに付き合ってくれるので安心です。

調子に乗って画像もつくってみる

最後に、「お月見」をテーマに画像も生成したのでご紹介します。

プロンプトは「お月見をテーマにリアリティのある画像を作成してください」と入力しました。画像生成する時は、どんな要素を組み込んでほしいのか、どんなテイストの画像がよいかを指示すると、イメージに近いものを作ってくれます。

いかがでしたか。私同様、少しでも疑問が解消されたという方がいらっしゃれば嬉しい限りです。今後は、インターネットの検索エンジンもAI検索が標準化していくと言われています。ますます日常に溶け込んでくるAIと、うまい具合に付き合っていきたいなと思います。



▼実際の画面(スマートフォン)

